



2019年12月期 第1四半期 決算概要

東証1部 3064

株式会社MonotaRO
www.monotaro.com

事業概要と特長・差別化戦略

■ 主な事業内容

- インターネット等を利用した、事業者向け工場・工事用、自動車整備用等の間接資材の通信販売
(商品点数:1,800万点超・うち当日出荷対象商品54.0万点、在庫点数42.2万点)

■ 販売商品の特長

- 種類は多岐にわたり、顧客にとっては価格よりも利便性が重要

■ 従業員数(連結・2019年3月末)

	正社員		アルバイト・派遣		計	
本社等(内、MonotaRO)	436	(299)	349	(275)	785	(574)
物流センター(同)	67	(48)	1,272	(1,230)	1,339	(1,278)
計(同)	503	(347)	1,621	(1,505)	2,124	(1,852)

■ 主な競合

- 訪問工具商・金物屋・自動車部品商、インターネット通販サイト等

■ 主な顧客層

- 製造業、建設・工事業、自動車整備業等(中小企業が中心顧客)

■ 市場規模

- 5~10兆円

■ 経営戦略

- インターネットを活用して規模の経済を実現し幅広い商材と高い検索性で差別化する。
- 累積する受注・顧客データベースを整備分析したマーケティングで顧客を囲い込む。
- 自社ソフト開発からコンテンツ制作までを行うことで高い生産性を実現する。

2019年12月期 第1四半期 【単体】決算概要

【単体】2019年度 第1四半期 決算の概略

■ 売上 29,879百万円(前年同期比 +24.2%、計画比 △0.7%)

- 検索キーワード・商品リスティング広告強化、検索エンジン最適化(SEO)、TVCM放映、取扱点数拡大(1,800万点超)、在庫点数拡大(42.2万点)等の取組みにより、獲得口座数増(17.0万口座増)および既存顧客売上増。事業者向けネット通販事業(monotaro.com)売上は対前年増。
- 連携社数増・利用増により、購買管理システム事業(大企業連携)売上は対前年・対計画とも増。

2018年度 Q1実績				2019年度 Q1計画			2019年度 Q1実績				
連携社数	金額	前年同期比	売上合計比	金額	前年同期比	売上合計比	連携社数	金額	前年同期比	計画比	売上合計比
459社	29億円	+48%	12.1%	43億円	+49%	14.4%	639社	45億円	+58%	+6%	15.4%

■ 売上総利益 8,600百万円(前年同期比 +18.3%、計画比 △1.5%)

- 売上総利益率(GP率)は前年同期比△1.4ポイント。値上げ等による配送料率増(△0.5ポイント)、商品ミックス変動および大企業連携比率増(△0.2ポイント)、海外ロイヤリティ減等による。
- GP率は計画比△0.2ポイント。海外ロイヤリティ減等による。

■ 販売管理費 4,855百万円(前年同期比 +18.8%、計画比 △3.7%)

- 販売管理费率(販管费率)は前年同期比△0.8ポイント。第二期拡張工事中の笠間DCでの費用増(業務委託費、備品費用等)はあったものの、前年の新TVCM制作費用の今年度減およびカタログ作成の効率化による広告宣伝費の減等による。
- 販管费率は計画比△0.5ポイント。物流関連コスト率△0.2ポイント(尼崎DCの派遣社員費用率・備品費用率減等)および社内ソフトウェア開発増に伴う人件費資産振替増等による。

■ 営業利益 3,745百万円(前年同期比 +17.6%、計画比 +1.5%)

■ 当期純利益 2,605百万円(前年同期比 +20.2%、計画比 +2.1%)

- 当期純利益率は前年同期比△0.3ポイント。法人税等税率減となるも営業利益率下落(△0.7ポイント)に及ばず。
- 当期純利益率は計画比+0.2ポイント。販管费率改善を主因に営業利益率増(+0.2ポイント)。

【単体】2019年度 第1四半期 損益計算書サマリー

	2018年度 Q1実績		2019年度 Q1計画		2019年度 Q1実績			
	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比	前年 同期比	計画比
売上高	24,048		30,105		29,879		+24.2%	△0.7%
売上総利益	7,271	30.2%	8,732	29.0%	8,600	28.8%	+18.3%	△1.5%
販売管理費	4,086	17.0%	5,042	16.7%	4,855	16.2%	+18.8%	△3.7%
営業利益	3,185	13.2%	3,689	12.3%	3,745	12.5%	+17.6%	+1.5%
経常利益	3,147	13.1%	3,676	12.2%	3,752	12.6%	+19.2%	+2.1%
当期純利益 (法人税等税率)	2,166 (31.2%)	9.0%	2,551 (30.6%)	8.5%	2,605 (30.6%)	8.7%	+20.2%	+2.1%

【単体】2019年度 第1四半期 貸借対照表サマリー

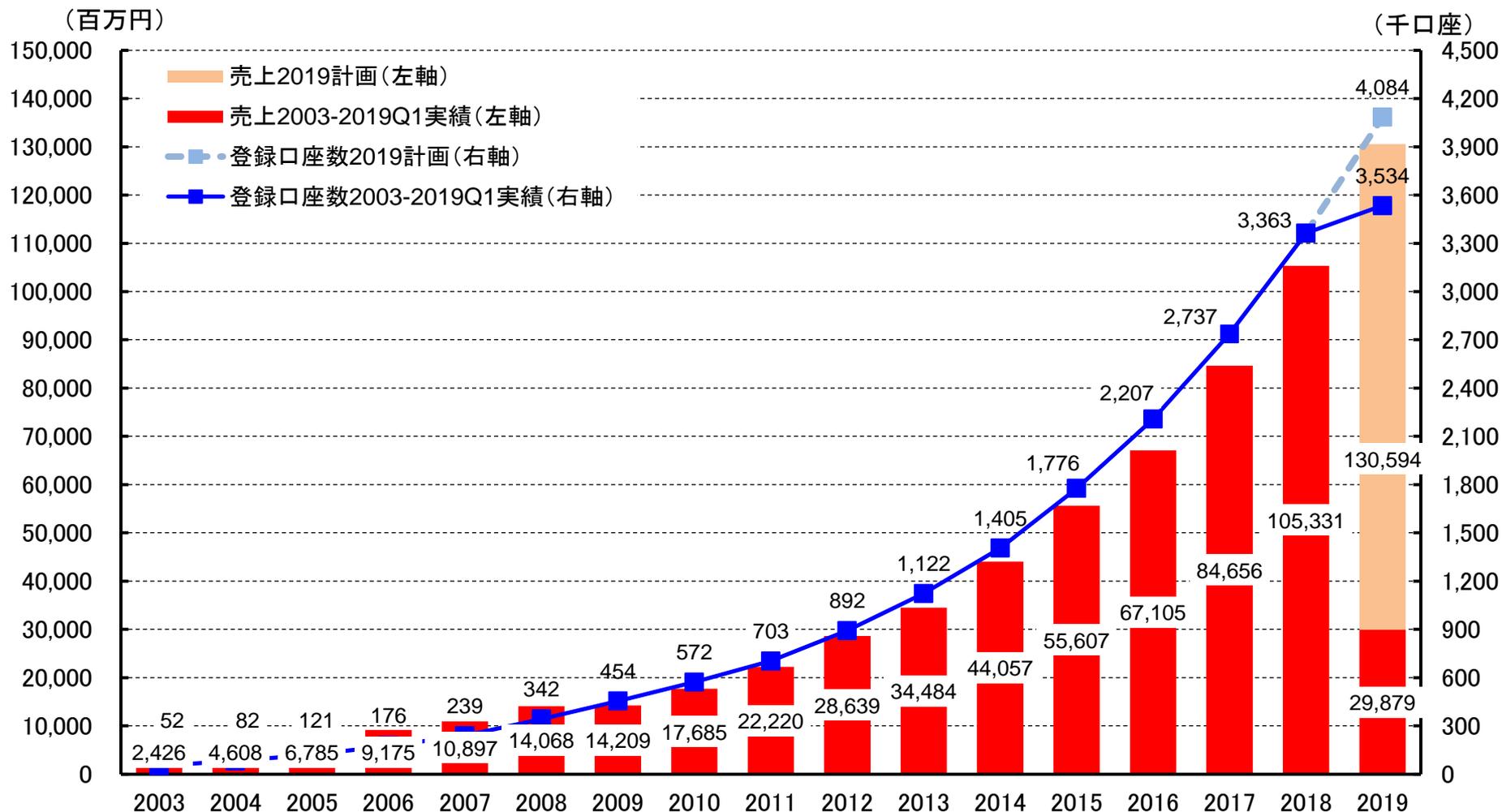
		2018年 3月	2018年 12月	2019年 3月	
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	構成比
資産の部					
流動資産	現預金	6,194	11,610	7,105	13.7%
	売掛金	11,419	11,476	13,004	25.0%
	棚卸資産	8,255	9,543	10,001	19.2%
	その他	3,543	4,225	4,083	7.9%
流動資産合計		29,414	36,856	34,194	65.8%
固定資産	有形固定資産	9,698	9,598	12,131	23.3%
	無形固定資産	1,239	1,316	1,519	2.9%
	投資その他 資産	3,459	3,815	4,158	8.0%
固定資産合計		14,397	14,729	17,810	34.2%
資産合計		43,811	51,585	52,005	

		2018年 3月	2018年 12月	2019年 3月	
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	構成比
負債の部					
流動負債	買掛金	7,302	8,015	8,824	17.0%
	短期借入金等	2,094	2,000	2,000	3.8%
	その他	4,869	7,523	6,515	12.5%
流動負債合計		14,266	17,539	17,340	33.3%
固定負債		4,418	2,879	2,502	4.8%
負債合計		18,684	20,419	19,843	38.2%
純資産の部					
株主資本合計		25,088	31,130	32,122	61.8%
新株予約権		38	35	39	0.1%
純資産合計		25,127	31,166	32,162	61.8%
負債・純資産 合計		43,811	51,585	52,005	

2019Q1より繰延税金資産は固定資産(投資その他資産)に計上。上記2018年3月、12月実績も比較のため同様に計上。対象金額は2018年3月は131百万円、2018年12月は195百万円、2019年3月は163百万円。

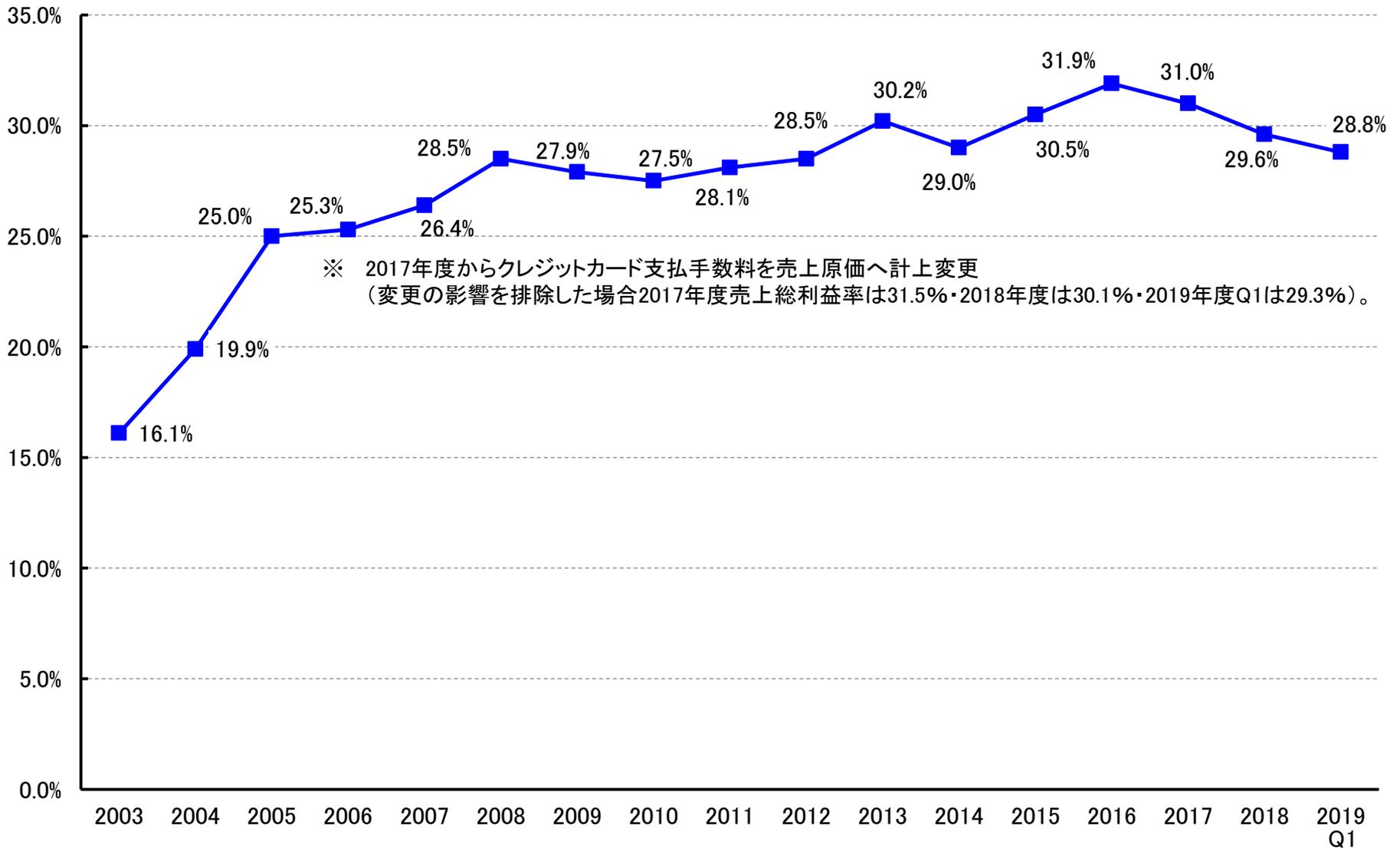
※短期借入金等・・・短期借入金および一年内返済長期借入金

【単体】売上・登録口座数推移

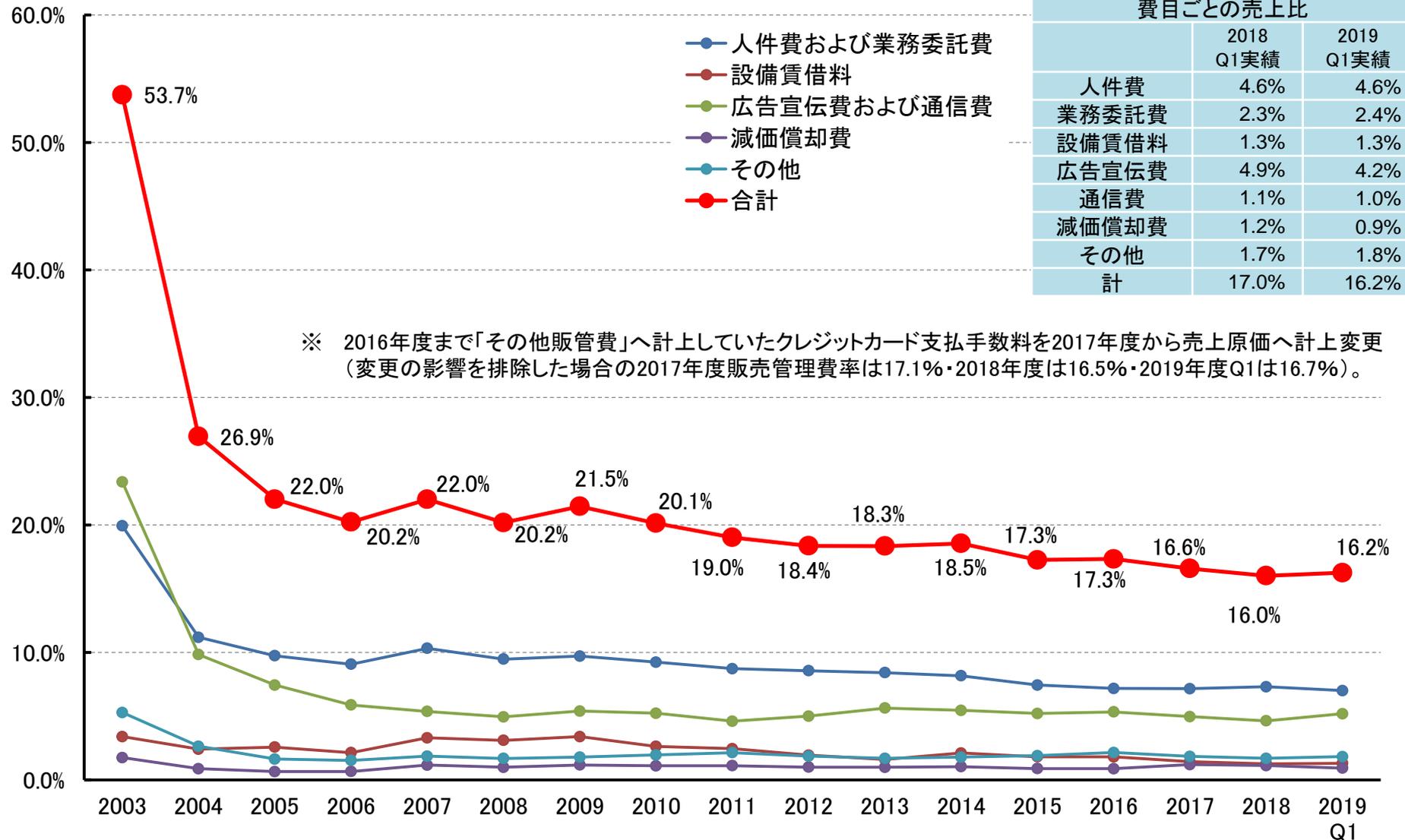


	2018年12月末	2019年3月末		2019年12月末(計画)	
登録口座数	3,363,711	3,534,465	+170,754 (対2018年12月末)	4,084,711	+721,000 (対2018年12月末)

【単体】売上総利益率推移



【単体】販売管理費率推移



2019年12月期 第1四半期 【連結】決算概要

【連結】2019年度 第1四半期 損益計算書サマリー 1/2

	2018年度 Q1実績		2019年度 Q1計画		2019年度 Q1実績			
	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比	前年 同期比	計画比
売上高	25,026		31,332		31,065		+24.1%	△0.9%
売上総利益	7,479	29.9%	9,012	28.8%	8,832	28.4%	+18.1%	△2.0%
販売管理費	4,376	17.5%	5,530	17.7%	5,263	16.9%	+20.3%	△4.8%
営業利益	3,103	12.4%	3,482	11.1%	3,569	11.5%	+15.0%	+2.5%
経常利益	3,068	12.3%	3,476	11.1%	3,585	11.5%	+16.9%	+3.1%
当期純利益 (法人税等税率)	2,089 (31.9%)	8.3%	2,351 (32.4%)	7.5%	2,440 (31.9%)	7.9%	+16.8%	+3.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,112	8.4%	2,408	7.7%	2,492	8.0%	+18.0%	+3.5%

【連結】2019年度 第1四半期 損益計算書サマリー 2/2

■ NAVIMRO (韓国)

- 新規口座獲得およびリピート率向上が順調に推移し、売上は現地通貨ベースではほぼ計画通り（為替の計画・実績差により円ベースでは計画未達）。営業損失は計画内。
- 今年度の通期黒字達成を見込む。

	2018年度 Q1実績			2019年度 Q1計画			2019年度 Q1実績				
	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	計画比	現地通貨 前年同期比	現地通貨 計画比
売上	9.2	+15.5%	+14.0%	11.2	+21.9%	+23.3%	11.0	+20.1%	△1.5%	+23.8%	+0.4%
営業利益	△0.2	—	—	△0.5	—	—	△0.3	—	—	—	—

■ MONOTARO INDONESIA (インドネシア)

- 売上は対前年同期比30%超増となるも、既存顧客リピート率未達等で計画には若干届かず。
- 営業損失も若干超過したもののほぼ計画通りに着地。

	2018年度 Q1実績			2019年度 Q1計画			2019年度 Q1実績				
	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	計画比	現地通貨 前年同期比	現地通貨 計画比
売上	0.6	+48.8%	+58.6%	0.8	+28.7%	+32.0%	0.8	+27.4%	△1.0%	+30.6%	△1.0%
営業利益	△0.5	—	—	△0.6	—	—	△0.7	—	—	—	—

■ ZORO SHANGHAI (中国)

- 新規顧客獲得数、登録時オーダー率、リピート率とも計画未達により、売上は計画から大幅減。
- 営業損失は計画内。

	2018年度 Q1実績			2019年度 Q1計画			2019年度 Q1実績				
	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	計画比	現地通貨 前年同期比	現地通貨 計画比
売上	—	—	—	0.1	—	—	0.0	—	△79.2%	—	△79.5%
営業利益	—	—	—	△0.8	—	—	△0.6	—	—	—	—

【連結】2019年度 第1四半期 貸借対照表サマリー

		2018年 3月	2018年 12月	2019年 3月	
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	構成比
資産の部					
流動資産	現預金	7,270	12,381	8,298	16.2%
	売掛金	11,489	11,546	13,105	25.6%
	棚卸資産	8,648	9,987	10,436	20.4%
	その他	3,602	4,269	4,119	8.0%
流動資産合計		31,011	38,184	35,960	70.2%
固定資産	有形固定資産	9,722	9,620	12,151	23.7%
	無形固定資産	1,352	1,483	1,687	3.3%
	投資その他 資産	1,061	1,416	1,423	2.8%
固定資産合計		12,136	12,521	15,262	29.8%
資産合計		43,147	50,706	51,222	

		2018年 3月	2018年 12月	2019年 3月	
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	構成比
負債の部					
流動負債	買掛金	7,554	8,318	9,157	17.9%
	短期借入金等	2,094	2,000	2,000	3.9%
	その他	4,942	7,642	6,622	12.9%
流動負債合計		14,591	17,961	17,780	34.7%
固定負債		4,448	2,906	2,540	5.0%
負債合計		19,039	20,867	20,320	39.7%
純資産の部					
株主資本合計		23,756	29,544	30,440	59.4%
その他		351	293	461	0.9%
純資産合計		24,107	29,838	30,902	60.3%
負債・純資産合計		43,147	50,706	51,222	

2019Q1より繰延税金資産は固定資産(投資その他資産)に計上。上記2018年3月、12月実績も比較のため同様に計上。対象金額は2018年3月は132百万円、2018年12月は196百万円、2019年3月は165百万円。

※短期借入金等・・・短期借入金および一年内返済長期借入金

【連結】2019年度 第1四半期 キャッシュフローサマリー

	2018年度 Q1実績	2019年度 Q1実績
	金額(百万円)	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	3,068	3,586
売上債権の増減額(△は増加)	△1,455	△1,559
棚卸資産の増減額(△は増加)	△591	△454
仕入債務の増減額(△は減少)	745	842
法人税等の支払額	△1,890	△2,721
その他	1,075	207
計	951	△98
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産取得による支出	△17	△147
無形固定資産取得による支出	△114	△133
その他	△37	73
計	△169	△208
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,031	△1,000
リース債務の返済による支出	△3	△1,306
配当金の支払額	△1,345	△1,596
その他	210	222
計	△2,169	△3,680
現金および現金同等物に係る換算差額	△30	10
現金および現金同等物の増減額(△は減少)	△1,417	△3,977
現金および現金同等物の期首残高	8,688	12,040
現金および現金同等物の期末残高	7,270	8,062

**2019年12月期
事業計画・戦略
【Q1 進捗】**

【単体】2019年度 事業計画

	2018年度 実績		2019年度 計画		
	金額(百万円)	売上比	金額(百万円)	売上比	前年比
売上高	105,331		130,594		+24.0%
売上総利益	31,147	29.6%	37,748	28.9%	+21.2%
販売管理費	16,868	16.0%	20,528	15.7%	+21.7%
営業利益	14,278	13.6%	17,219	13.2%	+20.6%
経常利益	14,250	13.5%	17,189	13.2%	+20.6%
当期純利益 (法人税等税率)	9,825 (30.9%)	9.3%	12,116 (29.5%)	9.3%	+23.3%

	2019年度 上期計画(1月～6月)			2019年度 下期計画(7月～12月)		
	金額(百万円)	売上比	前年比	金額(百万円)	売上比	前年比
売上高	61,193		+23.1%	69,401		+24.8%
売上総利益	17,691	28.9%	+18.2%	20,056	28.9%	+23.9%
販売管理費	9,856	16.1%	+23.1%	10,671	15.4%	+20.4%
営業利益	7,834	12.8%	+12.6%	9,384	13.5%	+28.2%
経常利益	7,815	12.8%	+12.9%	9,374	13.5%	+27.9%
当期純利益 (法人税等税率)	5,421 (30.6%)	8.9%	+13.8%	6,694 (28.6%)	9.6%	+32.3%

【連結】2019年度 事業計画

	2018年度 実績		2019年度 計画		
	金額(百万円)	売上比	金額(百万円)	売上比	前年比
売上高	109,553		136,258		+24.4%
売上総利益	32,027	29.2%	39,065	28.7%	+22.0%
販売管理費	18,236	16.6%	22,529	16.5%	+23.5%
営業利益	13,790	12.6%	16,536	12.1%	+19.9%
経常利益	13,788	12.6%	16,530	12.1%	+19.9%
当期純利益 (法人税等税率)	9,366 (32.0%)	8.6%	11,457 (30.7%)	8.4%	+22.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	9,515	8.7%	11,715	8.6%	+23.1%

	2019年度 上期計画(1月～6月)			2019年度 下期計画(7月～12月)		
	金額(百万円)	売上比	前年比	金額(百万円)	売上比	前年比
売上高	63,780		+23.4%	72,478		+25.3%
売上総利益	18,284	28.7%	+18.8%	20,780	28.7%	+24.9%
販売管理費	10,816	17.0%	+24.7%	11,712	16.2%	+22.5%
営業利益	7,468	11.7%	+11.3%	9,068	12.5%	+28.1%
経常利益	7,462	11.7%	+11.6%	9,068	12.5%	+27.7%
当期純利益 (法人税等税率)	5,069 (32.1%)	7.9%	+11.4%	6,388 (29.5%)	8.8%	+32.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,191	8.1%	+12.7%	6,523	9.0%	+32.9%

2019年度 事業戦略 1/4 国内事業 ①

■ 事業者向けネット通販事業 (monotaro.com)

- 顧客ベースの拡大
 - マーケティングデータを一層活用するとともに、取扱点数拡大、検索キーワード・商品リスティング広告・SEO強化等により当社サイトへのトラフィックを拡大する。ランディングページ改善等によるコンバージョンレート向上にも取組み、獲得コストをコントロールしつつ新規口座獲得計画(2019年度:72.1万口座)を達成する。
- 既存顧客向け売上拡大
 - システム導入・開発を通じたDC間の発送・在庫最適化や配送ネットワークの向上による更なるリードタイムの短縮および検索結果・プロモーションの業種最適化等に取り組み、顧客当りの売上増を図る。

■ 購買管理システム事業 (大企業連携)

・ 連携企業数の推移

	2018年度 Q4末実績	2019年度 Q1末実績		
	企業数	企業数	前年度末比	摘要
連携企業数	604	639	+35	
One Source	12	13	+1	2社が導入検討中。
One Source Lite	172	209	+37	221社が導入検討中。

- 体制強化
 - コーポレート営業グループのメンバー増員を推進中。現在の東京・尼崎/兵庫体制に加え、2019年度中の中部地域の営業拠点開設を計画。
 - 顧客数、顧客利用拠点数、口座数、口座当り利用それぞれの拡大に取り組み、大企業連携事業の更なる成長(2019年度売上成長計画:+44%)を図る。

2019年度 事業戦略 2/4 国内事業 ②

■ ロイヤリティ事業

- 対象事業(Grainger社 欧・米Zoroビジネス)は継続成長へ向けた顧客獲得・品揃え拡大のためのシステム開発を推進中。それに伴い投資の意味合いの強い関連費用が増となるため、Zoroビジネスの営業利益は前年から縮小。それにより、当社が受取るロイヤリティも減少する見込み。

■ データサイエンスに基づくマーケティング力・システム開発の体制強化

- データサイエンティスト・ITエンジニアの採用継続中(東京オフィスで2~3年の間に30名程度採用予定)。
- 2018年度から継続して採用実績あり(尼崎本社・東京/赤坂オフィスで勤務開始)。
- データサイエンティスト・ITエンジニアはマーケティングとシステム開発(Webサイト・基幹システム)に取り組む。

■ サプライチェーン高度化のための新ITプラットフォーム構築(導入プロジェクト今年度開始)

- 商品情報管理向上
 - 取扱商品点数増に伴い増加する商品情報の項目拡大への対応と情報入手の効率化を図る。
 - 商品情報のスムーズな海外展開も視野に入れ多言語での情報管理も検討。
- 受発注管理システム導入
 - 今後の更なる物流関連拠点増に伴う在庫商品出荷拠点や配送ルートが多様化に対応し、流動的状況下においても最適解を選定して実行する体制を構築。
 - 在庫に無い商品(欠品、取寄、直送)受注時の対応を最適化(最適・適時な発注・配送の選定や同梱包推進等)し配送コスト・タイム削減を図る。

2019年度 事業戦略 3/4 物流 ①

- 物流関連コスト2019年度Q1売上比実績(下表):5.8%
 - 笠間DC第二期工事に伴い人件費・業務委託費率およびその他費率(備品・梱包材費用)が増となるも、売上増に伴う減価償却費率減により、物流関連コスト率は前年同期と同レベルに着地。
 - 尼崎DCの生産性向上を主因に人件費率・業務委託費率が減となり、物流関連コスト率は計画から0.2ポイント改善。
- 在庫
 - 2019年度3月末42.2万点(今年度末までに47万点程度まで拡大する計画)。
 - 2019年度もDC間最適バランスを意識した在庫拡大を推進し、リードタイム短縮を通じて顧客の更なる利便性向上を図る。



尼崎DC



笠間DC



北海道DC(道央札幌郵便局内)

	2018年度Q1 実績		2019年度Q1 計画		2019年度Q1 実績			
	金額(百万円)	売上比	金額(百万円)	売上比	金額(百万円)	売上比	前年同期比	計画比
売上高(単体)	24,048		30,105		29,879		+24.2%	△0.7%
減価償却費	169	0.7%	162	0.5%	159	0.5%	△6.0%	△1.7%
人件費・業務委託費	756	3.1%	1,013	3.4%	965	3.2%	+27.5%	△4.8%
設備賃借料	274	1.1%	342	1.1%	343	1.1%	+25.2%	+0.2%
その他	192	0.8%	292	1.0%	272	0.9%	+41.3%	△7.0%
合計	1,393	5.8%	1,811	6.0%	1,740	5.8%	+24.9%	△3.9%

2019年度 事業戦略 4/4 物流 ②

■ 笠間DC拡張工事

- 約30億円を投資し二期工事が完了。
 - 自律搬送型ロボットを114台追加(計268台稼働中)。
 - ピッキングステーション28箇所追加(計44箇所稼働中)。
 - ピッキングステーションにプロジェクションマッピング技術
を応用。ピッキングする商品の位置・個数を可視化する
ことで更なる配送品質の向上を図る。
 - 拡張完了後、対応可能な売上規模は約1,600億円超。

■ 売上拡大に向けた物流能力拡大

- 2021年度へ向け、更なる能力拡大施策について検討中。
- 現行体制の最大出荷能力についても見極め中。
- 現行DC拡大もしくは新規DC設置を基本に出荷能力拡大
の施策について検討中。現行体制の出荷能力をベースに
スケジュールを策定(2019年度中間決算公表時に
スケジュールを含む施策を公表予定)。



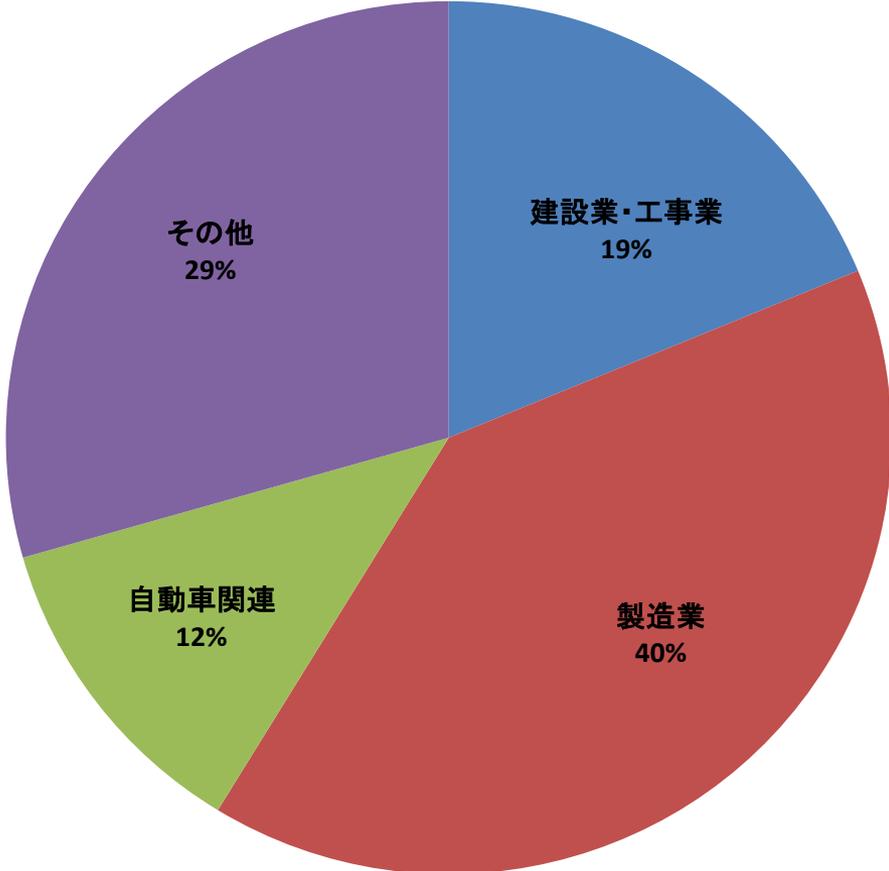
プロジェクションマッピング技術応用のピッキング



拡張工事後の自律搬送型ロボットの稼働エリア

参考資料

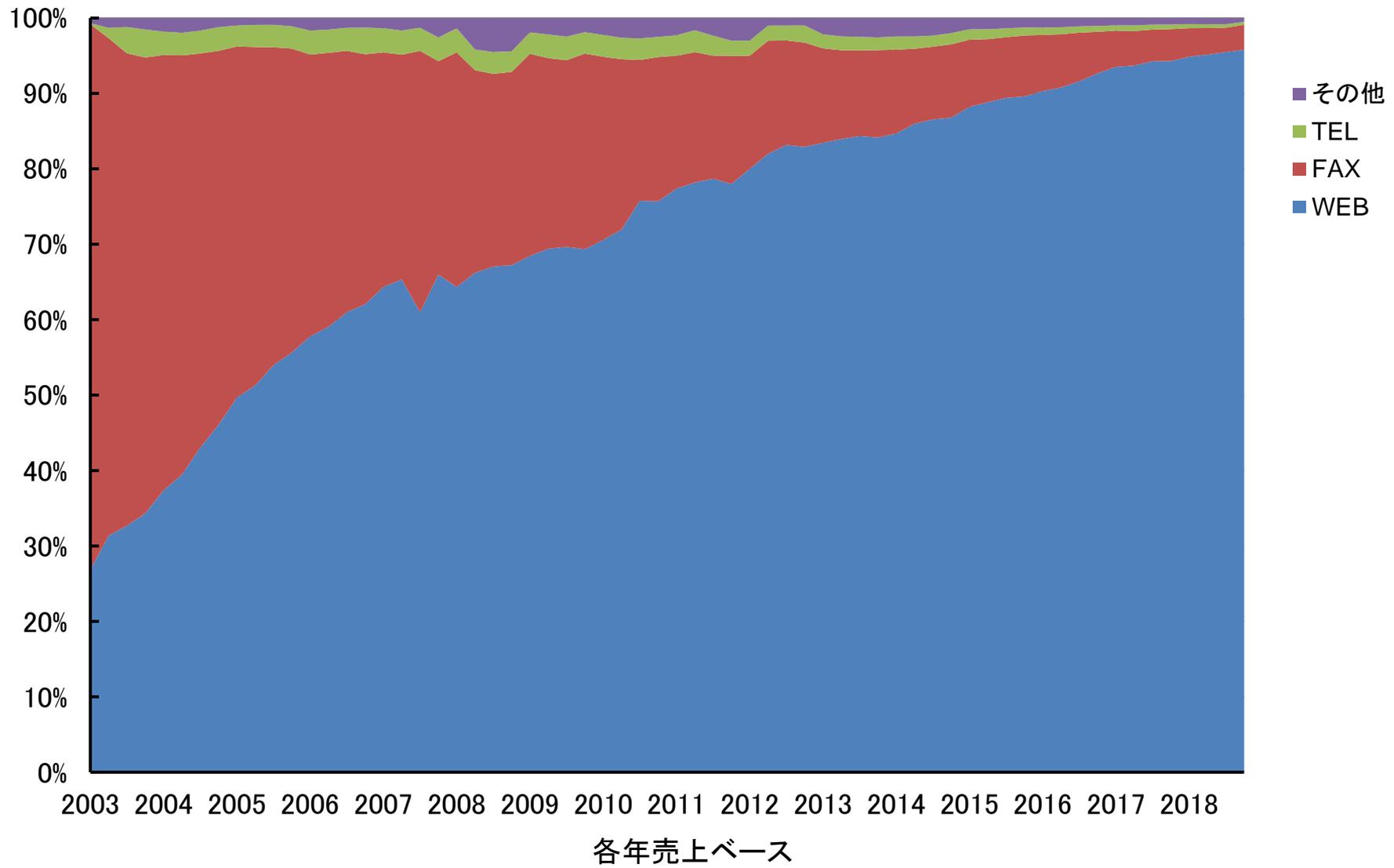
顧客の業種



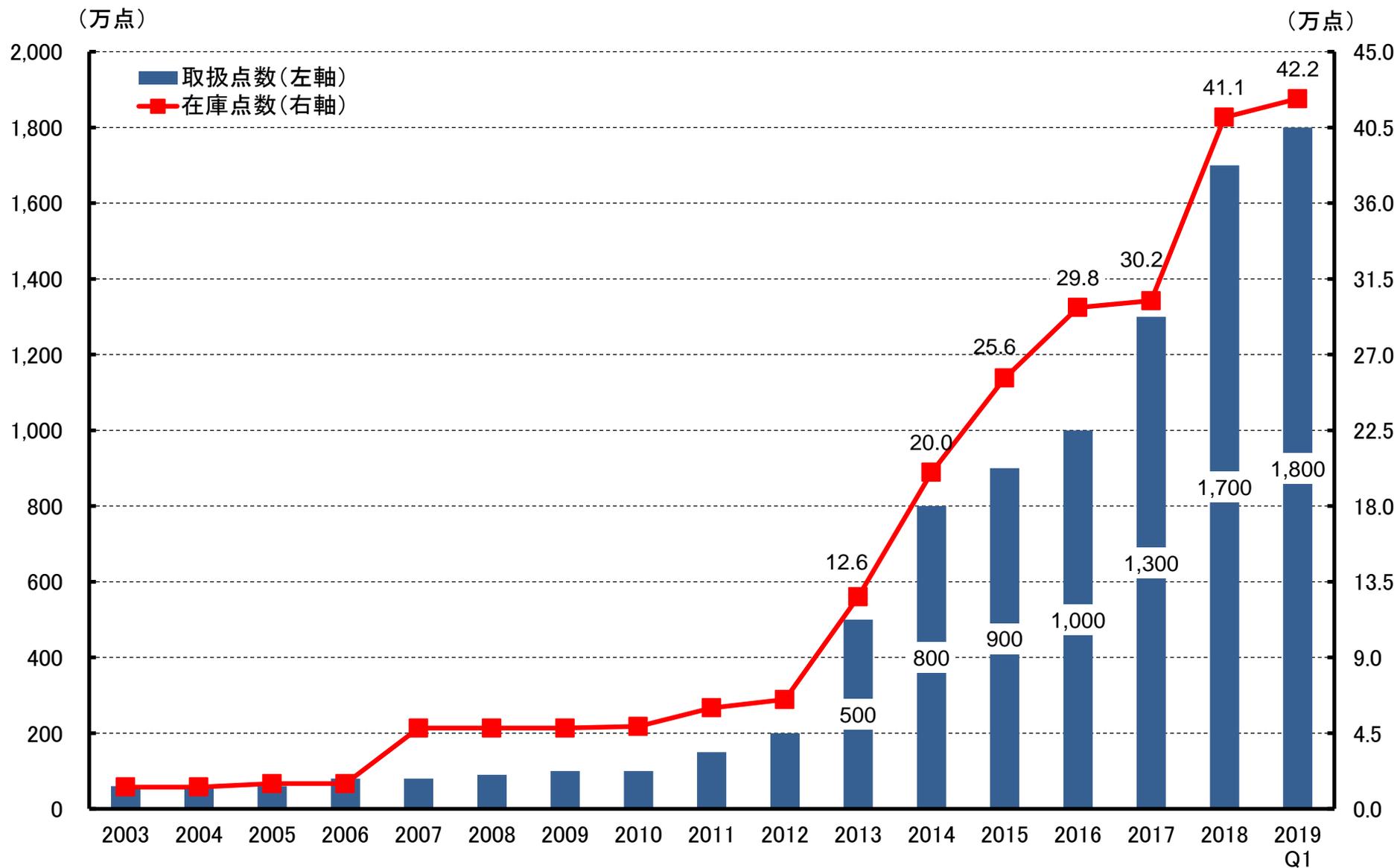
2018年売上ベース

monotaro.com受注のみ(大企業連携を除く)

受注方法比率



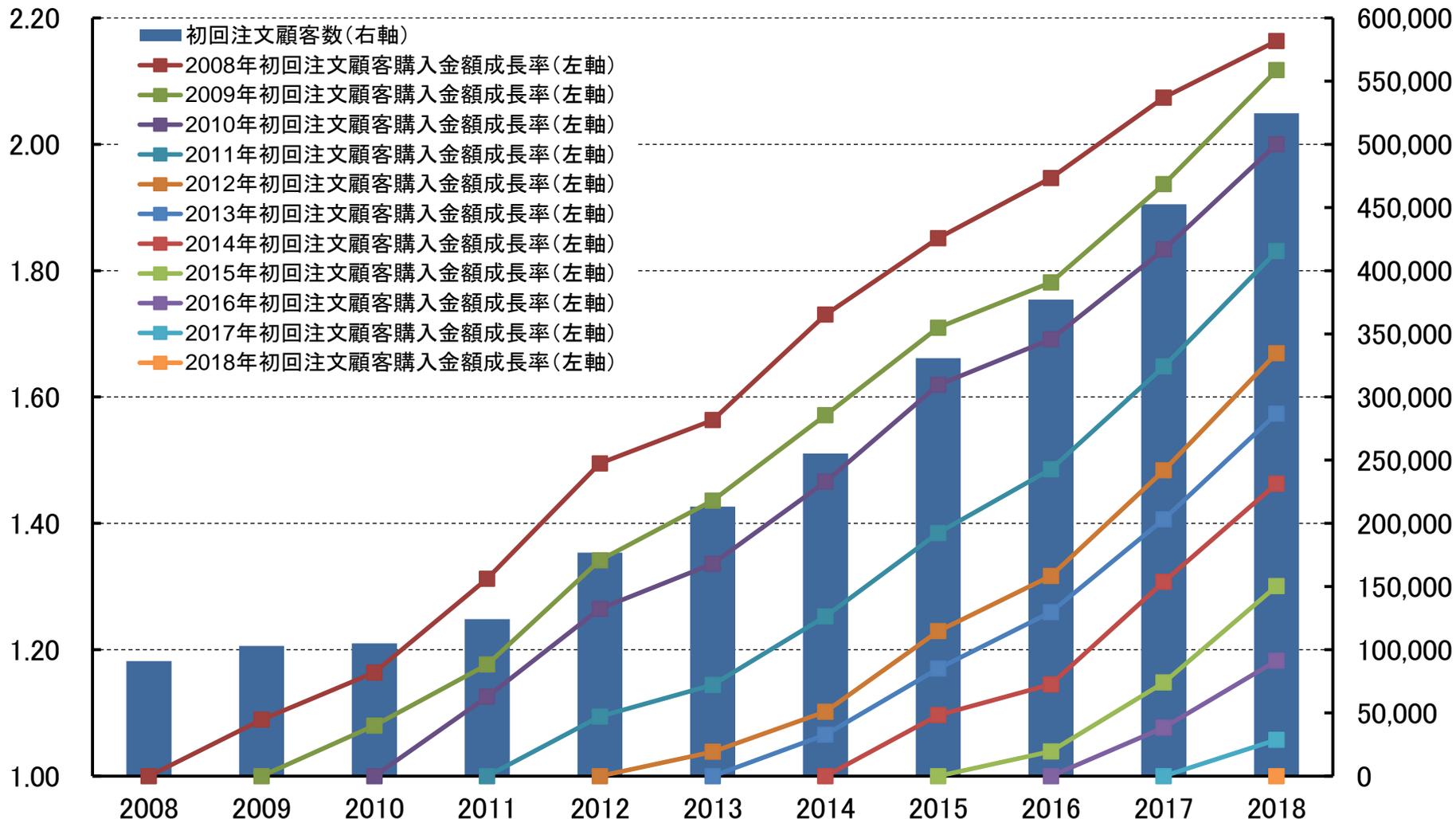
取扱・在庫点数



初回注文顧客数・購入金額成長率

(購入金額成長率)

(初回注文顧客数)



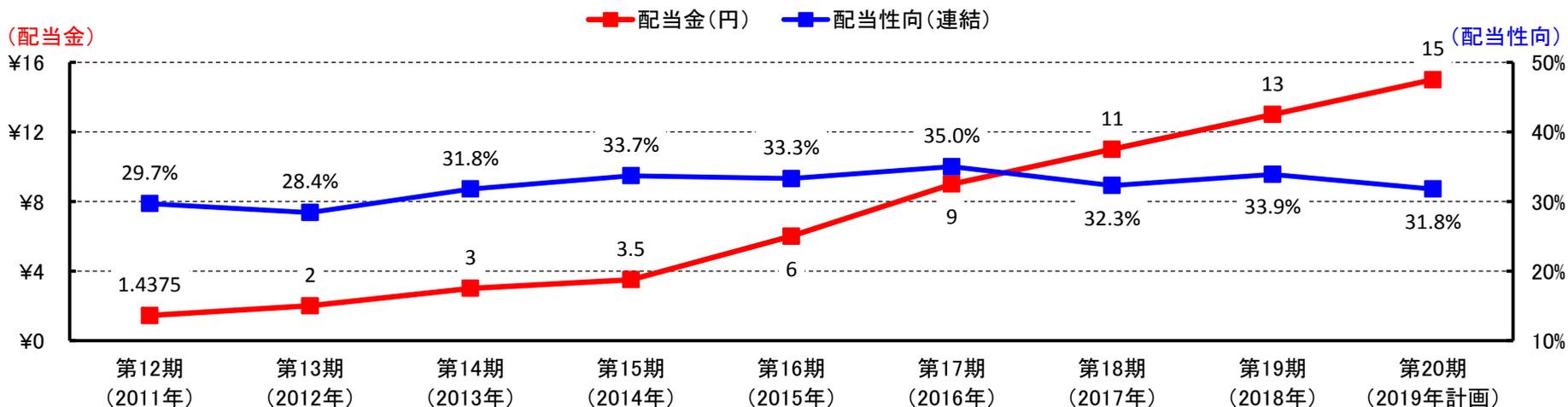
棒グラフは該当年度に初めて注文した顧客数(初回注文顧客数・右軸)

折線グラフは該当年度初回注文顧客の購入金額成長率。初回注文年度の売上を1とした倍率(購入金額成長率・左軸)

株主還元

■ 配当の状況

- 配当方針: 安定的かつ継続的な業績成長に見合った成果を配分。
- 第19期(2018年度)配当実績: 1株当り13円(中間配当6.5円、期末配当6.5円)。
- 第20期(2019年度)配当計画: 1株当り15円。



※ グラフ内の配当金額は2018年10月1日付およびそれ以前の株式分割を考慮したものの。

■ 株主優待制度

- 12月31日時点で当社株式1単元(100株)を半年以上継続保有されている株主様を対象に実施。
- 継続保有期間(右表)に応じ当社プライベートブランド商品からお選び頂き贈呈。

継続保有期間	優待額
半年以上	3,000円(税抜)
3年以上	5,000円(税抜)
5年以上	7,000円(税抜)

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としていません。

お問合せ先

IR・広報グループ

Tel:06-4869-7190

Fax:06-4869-7178

Mail: pr@monotaro.com

IR情報:<https://www.monotaro.com/main/ir/>